

## 事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	北海道	関係市町村	室蘭市他5市町
事業名	水産資源環境整備事業（広域水産物供給基盤整備事業（漁場））		
地区名	イブリ がい 胆振海域	事業主体	北海道

## I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	—	漁場名	室蘭漁場他9漁場
陸揚金額	3,469 百万円	陸揚量	21,559 トン
登録漁船隻数	— 隻	利用漁船隻数	254 隻
主な漁業種類	刺網漁業、サケ定置網漁業 ホタテ貝養殖漁業 ホッキ桁網漁業、タコ漁業、	主な魚種	スケトウダラ、サケ、ホッケ、カレイ類、ソイ類、アイメ、ハタハタ、ホテカイ、ホッキ、タコ
漁業経営体数	345 経営体	組合員数	500 人
地区の特徴	本地区は、北海道の南西部に位置し、親潮系寒流水や津軽暖海流水の季節的な入れ替えにより多様な生態系が育まれており、スケトウダラ、カレイなどの刺網漁業、サケ定置網漁業、ホッキ桁網漁業、タコ漁業などが行われている。		
2. 事業概要			
事業目的	本地区は、サケ等回遊魚の来遊量減少により漁獲量が減少傾向で、不安定な漁家経営を余儀なくされており、安定した生産体制の整備が課題となっている。 このため、魚礁を設置し、本地区の主要魚種であるスケトウダラや沿岸性魚種であるホッケ、ソイ類等の良好な生息環境を創造するとともに、本地区の多くは底質が砂礫地帯のため、産卵基質が不足していることからミズダコ産卵礁やハタハタの産卵藻場を整備することによりこれら資源の増大を図り、安定した水産物の生産体制を構築する。		
主要工事計画	魚礁288,577.1空m <sup>3</sup> 、増殖場42.45ha		
事業費	5,364百万円	事業期間	平成14年度～平成23年度

## II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
	これまで一定の水準を確保していた当海域の漁獲量が、海水温の上昇等の海域環境の変化にとともない平成16年度から大幅に減少したため、魚礁原単位の見直しを行ったことから、費用便益比率も事前評価時の2.98から令和5年の1.01へと減少している。
2. 事業効果の発現状況	
	本地区は、サケ等の回遊魚減少により漁獲は減少傾向にあったが、本事業により魚礁・産卵礁の整備を行ったことにより、1経営体あたり対象魚種漁獲量は計画期間前の46.6t（平成10年）から、54.3t（平成30年）と、7.7t回復し一定の効果が発現している。また、ミズダコやハタハタについては産卵環境の拡大により近年も安定した漁獲がみられ、漁場として未利用海域の有効活用が図られた。 さらに、近隣の魚礁の水中カメラ調査結果からも、魚類の非常に良好な生息環境の構築が確認されている。

3. 事業により整備された施設の管理状況				
北海道漁場施設管理要綱に基づき、北海道が適正に施設の管理を行っている。				
4. 事業実施による環境の変化				
海底が平坦で岩礁域等の起伏がなく、魚類の生息環境やミズダコやハタハタの産卵環境として乏しい海域に、魚礁・産卵礁等を設置し、良好な生息環境・産卵環境が構築されたことにより、カレイやミズダコなどの資源回復がみられ、1経営体あたり対象魚種漁獲量は計画期間前の46.6t（平成10年）から、54.3t（平成30年）に回復した。				
5. 社会経済情勢の変化				
本地区の漁業経営体数は、平成11年の計画開始時は589戸であり、令和2年には345戸に減少しているが、水産業が地域経済に与える影響は変わらず大きなものとなっている。				
6. 今後の課題				
本事業では、魚類等の生息・産卵環境向上のために、魚礁や産卵礁等を整備することにより、未利用海域の有効活用が確認されたが、今後も費用対効果や経営体数等を把握するとともに、水産生物の生活史で不足している沖合の生息場や、沿岸の産卵場の部分を補うように漁場整備を行い、更なる水産資源の底上げを図る必要がある。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成13年評価時の 費用便益比B/C	2.98	現時点の B/C	1.01	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

### Ⅲ 総合評価

<p>本事業では、サケ等の来遊減少の対策として、魚礁の整備を行った結果、水中カメラ映像や漁業者聞き取りによりアイナメやスケトウダラ等の生息環境の構築が図られたことを確認した。</p> <p>また、ミズダコやハタハタについては産卵礁等の整備により近年も安定した漁獲がみられている。</p> <p>このことにより、1経営体あたり対象魚種漁獲量は計画期間前の46.6t（平成10年）から、54.3t（平成30年）に回復し一定の効果が発現している。</p> <p>さらに、現在の状況において費用対効果分析を行ったところ1.0を超えており、経済効果も確認されていることから、本事業は当該地区において効率的な水産物の供給体制に寄与しており、想定した事業効果の発現が認められた。</p>
--

## 費用対効果分析集計表

## 1 基本情報

都道府県名	北海道	地区名	胆振海域
事業名	広域水産物供給基盤整備事業	施設の耐用年数	30

## 2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の評価項目及び便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	
②漁獲機会の増大効果				千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			6,244,644	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	8,838,438	千円
非常時・緊急時の対応		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	15,083,082	千円
総費用額（現在価値化）		C	14,905,808	千円
費用便益比		B / C	1.01	

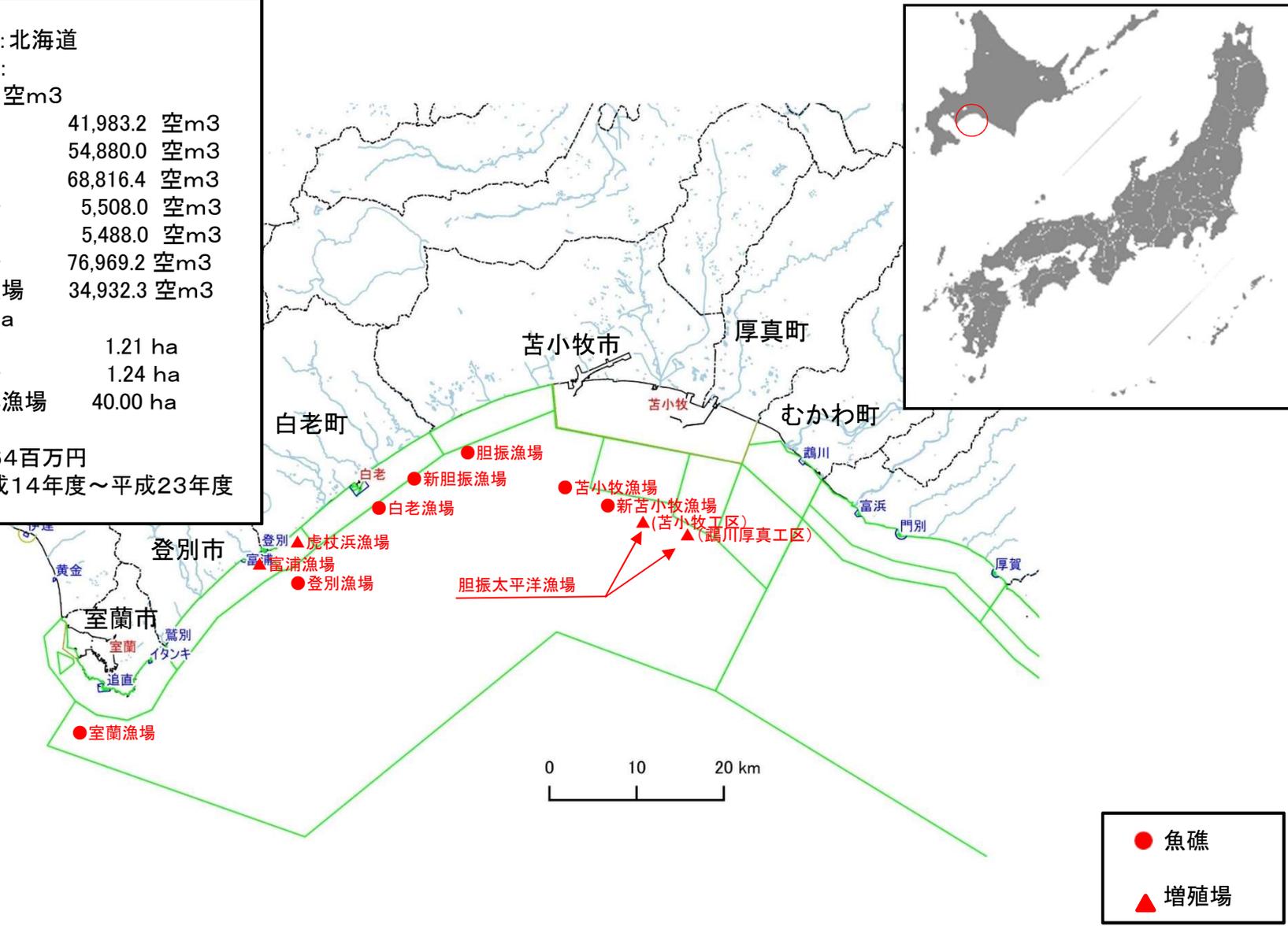
## 3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

対象種以外の魚種の産卵及び保護・育成効果

# 広域水産物供給基盤整備事業 胆振地域地区 事業概要図

事業主体:北海道  
 主要工事計画:  
 魚礁288,577.1空m<sup>3</sup>  
 ・室蘭漁場 41,983.2 空m<sup>3</sup>  
 ・登別漁場 54,880.0 空m<sup>3</sup>  
 ・白老漁場 68,816.4 空m<sup>3</sup>  
 ・新胆振漁場 5,508.0 空m<sup>3</sup>  
 ・胆振漁場 5,488.0 空m<sup>3</sup>  
 ・苫小牧漁場 76,969.2 空m<sup>3</sup>  
 ・新苫小牧漁場 34,932.3 空m<sup>3</sup>  
 増殖場42.45ha  
 ・富浦漁場 1.21 ha  
 ・虎杖浜漁場 1.24 ha  
 ・胆振太平洋漁場 40.00 ha

事業費:5,364百万円  
 事業期間:平成14年度～平成23年度



## 胆振海域 広域漁場整備事業の効用に関する説明資料

## 1. 事業概要

- (1) 事業目的：本地区は、サケ等回遊魚の来遊量減少により漁獲量が減少傾向で、不安定な漁家経営を余儀なくされており、安定した生産体制の整備が課題となっている。  
このため、魚礁を設置し、本地区の主要魚種であるスケトウダラや沿岸性魚種であるホッケ、ソイ類等の良好な生息環境を創造するとともに、本地区の多くは底質が砂礫地帯のため、産卵基質が不足していることからミスダコ産卵礁やハタハタの産卵藻場を整備することによりこれら資源の増大を図り、安定した水産物の生産体制を構築する。
- (2) 主要工事計画：魚礁288,577.1空m3、増殖場42.45ha
- (3) 事業費：5,364百万円
- (4) 工期：平成14年度～平成23年度

## 2. 総費用便益比の算定

## (1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（令和5年6月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（令和5年6月改訂 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	14,905,808（千円）
総便益額（現在価値化）	②	15,083,082（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.01

## (2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
魚礁漁場（魚礁）	288,577.1 空m3	4,786,786
増殖場（着定基質（産卵礁））	42.45 ha	576,839
計		5,363,625
維持管理費等		0
総費用（消費税込）		5,363,625
内、消費税額		255,430
総費用（消費税抜）		5,108,195
現在価値化後の総費用		14,905,808

## (3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額（千円）	効果の要因
漁獲可能資源の維持・培養効果		152,985	・生産量の増加効果
漁業外産業への効果		217,103	・水産加工業に対する生産量の増加効果 ・出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果
計		370,088	

(4) 総便益算出表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレータ ②	費用 (千円)			便益 (千円)			割引後 効果額合計 (千円) ①×②×④
				事業費 (維持管理費含む) ③	事業費 (税抜) ③	現在価値 (維持管理費含む) ①×②×③	漁獲可能資源の維持・ 培養効果	漁業外産業への効果	計 ④	
-21	H14	0.439	1.451	956,601	911,045	3,011,222	0	0	0	0
-20	H15	0.456	1.481	807,197	768,757	2,496,773	24,216	34,139	58,355	189,525
-19	H16	0.475	1.483	706,875	673,213	2,101,842	44,845	63,222	108,067	337,396
-18	H17	0.494	1.482	630,109	600,102	1,800,306	63,323	89,274	152,597	457,791
-17	H18	0.513	1.453	531,592	506,277	1,433,958	79,566	112,173	191,739	543,073
-16	H19	0.534	1.466	434,683	413,981	1,136,510	91,240	128,631	219,871	603,615
-15	H20	0.555	1.463	371,625	353,926	932,962	102,996	144,476	247,472	652,344
-14	H21	0.577	1.373	339,398	323,233	769,149	113,771	158,542	272,313	647,982
-13	H22	0.601	1.320	280,310	266,961	586,337	123,147	170,745	293,892	645,487
-12	H23	0.625	1.369	305,235	290,700	636,749	138,682	194,505	333,187	729,812
-11	H24	0.650	1.321	0	0	0	152,985	217,103	370,088	752,132
-10	H25	0.676	1.326	0	0	0	152,985	217,103	370,088	725,941
-9	H26	0.703	1.268	0	0	0	152,985	217,103	370,088	667,527
-8	H27	0.731	1.247	0	0	0	152,985	217,103	370,088	631,326
-7	H28	0.760	1.247	0	0	0	152,985	217,103	370,088	607,237
-6	H29	0.790	1.214	0	0	0	152,985	217,103	370,088	568,718
-5	H30	0.822	1.176	0	0	0	152,985	217,103	370,088	529,469
-4	R1	0.855	1.144	0	0	0	152,985	217,103	370,088	495,182
-3	R2	0.889	1.127	0	0	0	152,985	217,103	370,088	469,167
-2	R3	0.925	1.087	0	0	0	152,985	217,103	370,088	434,903
-1	R4	0.962	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	384,707
0	R5	1.000	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	370,088
1	R6	1.040	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	355,854
2	R7	1.082	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	342,041
3	R8	1.125	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	328,967
4	R9	1.170	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	316,315
5	R10	1.217	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	304,099
6	R11	1.265	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	292,560
7	R12	1.316	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	281,222
8	R13	1.369	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	270,335
9	R14	1.423	1.000	0	0	0	152,985	217,103	370,088	260,076
10	R15	1.480	1.000	0	0	0	128,769	182,964	311,733	210,630
11	R16	1.539	1.000	0	0	0	108,140	153,881	262,021	170,254
12	R17	1.601	1.000	0	0	0	89,662	127,829	217,491	135,847
13	R18	1.665	1.000	0	0	0	73,419	104,930	178,349	107,117
14	R19	1.732	1.000	0	0	0	61,745	88,472	150,217	86,730
15	R20	1.801	1.000	0	0	0	49,989	72,627	122,616	68,082
16	R21	1.873	1.000	0	0	0	39,214	58,561	97,775	52,202
17	R22	1.948	1.000	0	0	0	29,838	46,358	76,196	39,115
18	R23	2.026	1.000	0	0	0	14,303	22,598	36,901	18,214
19	R24	2.107	1.000	0	0	0	0	0	0	0
計				5,363,625	5,108,195	14,905,808	4,589,550	6,513,090	11,102,640	15,083,082

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定  
 ※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 漁獲可能資源の維持・培養効果

浅海域にハタハタやミズダコを対象とした産卵礁等を設置することで資源量増を図るとともに、沖合に未成魚の育成場や成魚生息の場となる魚礁を設置しスケトウダラ、ホッケ、ソイ類等の良好な生息環境を構築することで安定した水産物の生産体制を構築する。

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (室蘭漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 269,952	・魚礁整備規模 41,983.2 空m3 ・原単位： 6.430 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出) ・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 269,952 kg																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 31,810	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比 (%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量 (kg)</th> <th>平均単価 (円/kg)</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.311</td> <td>222,973</td> <td>99</td> <td>22,074</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>3,527</td> <td>183</td> <td>645</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.003</td> <td>42,108</td> <td>206</td> <td>8,674</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>252</td> <td>377</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>1,092</td> <td>295</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.430</td> <td>269,952</td> <td>—</td> <td>31,810</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)	スケトウダラ	82.6	5.311	222,973	99	22,074	ホッケ	1.3	0.084	3,527	183	645	カレイ類	15.6	1.003	42,108	206	8,674	アイナメ	0.1	0.006	252	377	95	ソイ類	0.4	0.026	1,092	295	322	合計	100.0	6.430	269,952	—	31,810
	魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.311	222,973	99	22,074																																							
ホッケ	1.3	0.084	3,527	183	645																																							
カレイ類	15.6	1.003	42,108	206	8,674																																							
アイナメ	0.1	0.006	252	377	95																																							
ソイ類	0.4	0.026	1,092	295	322																																							
合計	100.0	6.430	269,952	—	31,810																																							
漁獲経費 (千円)	③ 13,901	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	17,909	②-③																																										

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (登別漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 352,878	・魚礁整備規模 54,880 空m3 ・原単位： 6.430 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出) ・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 352,878 kg																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 41,580	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比 (%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量 (kg)</th> <th>平均単価 (円/kg)</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.311</td> <td>291,468</td> <td>99</td> <td>28,855</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>4,610</td> <td>183</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.003</td> <td>55,045</td> <td>206</td> <td>11,339</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>328</td> <td>377</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>1,427</td> <td>295</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.430</td> <td>352,878</td> <td>—</td> <td>41,580</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)	スケトウダラ	82.6	5.311	291,468	99	28,855	ホッケ	1.3	0.084	4,610	183	843	カレイ類	15.6	1.003	55,045	206	11,339	アイナメ	0.1	0.006	328	377	123	ソイ類	0.4	0.026	1,427	295	420	合計	100.0	6.430	352,878	—	41,580
	魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.311	291,468	99	28,855																																							
ホッケ	1.3	0.084	4,610	183	843																																							
カレイ類	15.6	1.003	55,045	206	11,339																																							
アイナメ	0.1	0.006	328	377	123																																							
ソイ類	0.4	0.026	1,427	295	420																																							
合計	100.0	6.430	352,878	—	41,580																																							
漁獲経費 (千円)	③ 18,170	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	23,410	②-③																																										

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (白老漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 442,489	・魚礁整備規模 68,816.4 空m3 ・原単位： 6.430 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出) ・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 442,489 kg																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 52,139	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比 (%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量 (kg)</th> <th>平均単価 (円/kg)</th> <th>増産額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.311</td> <td>365,483</td> <td>99</td> <td>36,182</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>5,781</td> <td>183</td> <td>1,057</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.003</td> <td>69,023</td> <td>206</td> <td>14,218</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>413</td> <td>377</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>1,789</td> <td>295</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.430</td> <td>442,489</td> <td>—</td> <td>52,139</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)	スケトウダラ	82.6	5.311	365,483	99	36,182	ホッケ	1.3	0.084	5,781	183	1,057	カレイ類	15.6	1.003	69,023	206	14,218	アイナメ	0.1	0.006	413	377	155	ソイ類	0.4	0.026	1,789	295	527	合計	100.0	6.430	442,489	—	52,139
	魚種別構成比 (%)	魚種別原単位	増加生産量 (kg)	平均単価 (円/kg)	増産額 (千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.311	365,483	99	36,182																																							
ホッケ	1.3	0.084	5,781	183	1,057																																							
カレイ類	15.6	1.003	69,023	206	14,218																																							
アイナメ	0.1	0.006	413	377	155																																							
ソイ類	0.4	0.026	1,789	295	527																																							
合計	100.0	6.430	442,489	—	52,139																																							
漁獲経費 (千円)	③ 22,785	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	29,354	②-③																																										

## スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (新胆振漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 35,416	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁整備規模 5,508 空m3</li> <li>・原単位： 6.430 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出)</li> <li>・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 35,416 kg</li> </ul>																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 4,171	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比(%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量(kg)</th> <th>平均単価(円/kg)</th> <th>増産額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.311</td> <td>29,252</td> <td>99</td> <td>2,895</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>463</td> <td>183</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.003</td> <td>5,525</td> <td>206</td> <td>1,138</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>33</td> <td>377</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>143</td> <td>295</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.430</td> <td>35,416</td> <td>—</td> <td>4,171</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)	スケトウダラ	82.6	5.311	29,252	99	2,895	ホッケ	1.3	0.084	463	183	84	カレイ類	15.6	1.003	5,525	206	1,138	アイナメ	0.1	0.006	33	377	12	ソイ類	0.4	0.026	143	295	42	合計	100.0	6.430	35,416	—	4,171
	魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.311	29,252	99	2,895																																							
ホッケ	1.3	0.084	463	183	84																																							
カレイ類	15.6	1.003	5,525	206	1,138																																							
アイナメ	0.1	0.006	33	377	12																																							
ソイ類	0.4	0.026	143	295	42																																							
合計	100.0	6.430	35,416	—	4,171																																							
漁獲経費 (千円)	③ 1,823	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	2,348	②-③																																										

## スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (胆振漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 35,436	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁整備規模 5,488 空m3</li> <li>・原単位： 6.457 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出)</li> <li>・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 35,436 kg</li> </ul>																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 4,174	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比(%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量(kg)</th> <th>平均単価(円/kg)</th> <th>増産額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.333</td> <td>29,268</td> <td>99</td> <td>2,897</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>461</td> <td>183</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.008</td> <td>5,531</td> <td>206</td> <td>1,139</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>33</td> <td>377</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>143</td> <td>295</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.457</td> <td>35,436</td> <td>—</td> <td>4,174</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)	スケトウダラ	82.6	5.333	29,268	99	2,897	ホッケ	1.3	0.084	461	183	84	カレイ類	15.6	1.008	5,531	206	1,139	アイナメ	0.1	0.006	33	377	12	ソイ類	0.4	0.026	143	295	42	合計	100.0	6.457	35,436	—	4,174
	魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.333	29,268	99	2,897																																							
ホッケ	1.3	0.084	461	183	84																																							
カレイ類	15.6	1.008	5,531	206	1,139																																							
アイナメ	0.1	0.006	33	377	12																																							
ソイ類	0.4	0.026	143	295	42																																							
合計	100.0	6.457	35,436	—	4,174																																							
漁獲経費 (千円)	③ 1,824	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	2,350	②-③																																										

## スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (苫小牧漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 496,990	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁整備規模 76,969.2 空m3</li> <li>・原単位： 6.457 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出)</li> <li>・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位=合計 496,990 kg</li> </ul>																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 58,566	「北海道水産現勢 (室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比(%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量(kg)</th> <th>平均単価(円/kg)</th> <th>増産額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.333</td> <td>410,477</td> <td>99</td> <td>40,637</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>6,465</td> <td>183</td> <td>1,183</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.008</td> <td>77,585</td> <td>206</td> <td>15,982</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>462</td> <td>377</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>2,001</td> <td>295</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.457</td> <td>496,990</td> <td>—</td> <td>58,566</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)	スケトウダラ	82.6	5.333	410,477	99	40,637	ホッケ	1.3	0.084	6,465	183	1,183	カレイ類	15.6	1.008	77,585	206	15,982	アイナメ	0.1	0.006	462	377	174	ソイ類	0.4	0.026	2,001	295	590	合計	100.0	6.457	496,990	—	58,566
	魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.333	410,477	99	40,637																																							
ホッケ	1.3	0.084	6,465	183	1,183																																							
カレイ類	15.6	1.008	77,585	206	15,982																																							
アイナメ	0.1	0.006	462	377	174																																							
ソイ類	0.4	0.026	2,001	295	590																																							
合計	100.0	6.457	496,990	—	58,566																																							
漁獲経費 (千円)	③ 25,593	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	32,973	②-③																																										

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の生産量の増加効果 (新苫小牧漁場)

区分		備考																																										
年間の漁獲増加量 (kg)	① 225,558	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁整備規模 34,932.3 空m3</li> <li>・原単位： 6.457 (kg/空m3) 内訳は②のとおり (水産基盤整備事業における人工魚礁の機能に関する研究H20-21に基づき算出)</li> <li>・漁獲増加量：魚礁整備規模×魚種別原単位＝合計 225,558 kg</li> </ul>																																										
年間の漁獲増加額 (千円)	② 26,578	<p>「北海道水産現勢(室蘭市～むかわ町)、H29～R3」より単価を算定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>魚種別構成比(%)</th> <th>魚種別原単位</th> <th>増加生産量(kg)</th> <th>平均単価(円/kg)</th> <th>増産額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>82.6</td> <td>5.333</td> <td>186,294</td> <td>99</td> <td>18,443</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>1.3</td> <td>0.084</td> <td>2,934</td> <td>183</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>15.6</td> <td>1.008</td> <td>35,212</td> <td>206</td> <td>7,253</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>0.1</td> <td>0.006</td> <td>210</td> <td>377</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>0.4</td> <td>0.026</td> <td>908</td> <td>295</td> <td>267</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100.0</td> <td>6.457</td> <td>225,558</td> <td>—</td> <td>26,578</td> </tr> </tbody> </table>		魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)	スケトウダラ	82.6	5.333	186,294	99	18,443	ホッケ	1.3	0.084	2,934	183	536	カレイ類	15.6	1.008	35,212	206	7,253	アイナメ	0.1	0.006	210	377	79	ソイ類	0.4	0.026	908	295	267	合計	100.0	6.457	225,558	—	26,578
	魚種別構成比(%)	魚種別原単位	増加生産量(kg)	平均単価(円/kg)	増産額(千円)																																							
スケトウダラ	82.6	5.333	186,294	99	18,443																																							
ホッケ	1.3	0.084	2,934	183	536																																							
カレイ類	15.6	1.008	35,212	206	7,253																																							
アイナメ	0.1	0.006	210	377	79																																							
ソイ類	0.4	0.026	908	295	267																																							
合計	100.0	6.457	225,558	—	26,578																																							
漁獲経費 (千円)	③ 11,615	43.7% (総務省漁業経営調査H29-R3平均) ②×0.437																																										
年間便益額 (千円/年)	14,963	②-③																																										

ハタハタ の生産量の増加効果 (富浦漁場)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (kg)	① 24,557.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産卵塊数 (産卵親魚尾数) 117,210 卵塊 (総産卵量×漁獲開始時までの生残率) (<i>ハ'</i> /<i>ハ'</i> 被度推移検討資料、H16年度胆振海域地区水産基盤整備技術課題調査業務)</li> <li>・1卵塊当たりの卵数 (産卵塊数) 1,421.96 粒/卵塊 (H16年度胆振海域地区水産基盤整備技術課題調査業務、北のさかなたち)</li> <li>・総産卵量：産卵塊数×1卵塊当たり産卵量＝ 166,667,932 粒</li> <li>・漁獲開始前までの生残率： 0.003 (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン 参考資料の手法より)</li> <li>・漁獲開始時資源量：総産卵量×漁獲開始前までの生残率＝ 500,004 尾</li> <li>・年間の漁獲増加量：生残解析より 24,557.0 kg</li> </ul>
年間の漁獲増加額 (千円)	② 19,915	①× 平均単価 ( 811 円 / kg) 水産現勢平均単価 (H29-R3) 室蘭市～むかわ町
漁獲経費 (千円)	③ 8,703	43.7% (総務省個人企業経済調査「第9表」H29-R3平均) ②×0.437
年間便益額 (千円/年)	11,212	②-③

ハタハタ の生産量の増加効果 (虎杖浜漁場)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (kg)	① 24,557.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産卵塊数 (産卵親魚尾数) 117,210 卵塊 (総産卵量×漁獲開始時までの生残率) (<i>ハ'</i> /<i>ハ'</i> 被度推移検討資料、H16年度胆振海域地区水産基盤整備技術課題調査業務)</li> <li>・1卵塊当たりの卵数 (産卵塊数) 1,421.96 粒/卵塊 (H16年度胆振海域地区水産基盤整備技術課題調査業務、北のさかなたち)</li> <li>・総産卵量：産卵塊数×1卵塊当たり産卵量＝ 166,667,932 粒</li> <li>・漁獲開始前までの生残率： 0.003 (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン 参考資料の手法より)</li> <li>・漁獲開始時資源量：総産卵量×漁獲開始前までの生残率＝ 500,004 尾</li> <li>・年間の漁獲増加量：生残解析より 24,557.0 kg</li> </ul>
年間の漁獲増加額 (千円)	② 19,915	①× 平均単価 ( 811 円 / kg) 水産現勢平均単価 (H29-R3) 室蘭市～むかわ町
漁獲経費 (千円)	③ 8,703	43.7% (総務省個人企業経済調査「第9表」H29-R3平均) ②×0.437
年間便益額 (千円/年)	11,212	②-③

ミズダコ の生産量の増加効果 (胆振太平洋漁場)

区分		備考
年間の漁獲増加量 (kg)	① 22,566.6	・産卵親魚尾数(雌) 354 尾 (土管数6本/基×設置基数1,000基×産卵率(5.9%)) (H27ミズダコ産卵礁効果調査による) ・1尾あたり産卵量: 50,000粒 (『新北のさかなたち』) ・総産卵量: 産卵親魚尾数×1尾あたり産卵量= 17,700,000 粒 ・漁獲開始前までの生残率: 0.0002 (水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン 参考資料の手法より) ・漁獲開始時資源量: 総産卵量×漁獲開始前までの生残率= 3,540 尾 ・年間の漁獲増加量: 生残解析より 22,566.6 kg
年間の漁獲増加額 (千円)	② 12,885	①× 平均単価 ( 571 円 / kg) 水産現勢平均単価 (H29-R3) 室蘭市～むかわ町
漁獲経費 (千円)	③ 5,631	43.7% (総務省個人企業経済調査「第9表」H29-R3平均) ②×0.437
年間便益額 (千円/年)	7,254	②-③

(2) 漁業外産業への効果

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (室蘭漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 269,952	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 74,764	「b消費地卸売単価: 札幌市中央卸売市場年報 (H29~R3平均)、c流通価格比: 総務省小売物価統計調査 (H29~R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29~R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c) (円/kg)</th> <th>e産地単価 (円/kg)</th> <th>f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>222,973</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>49,277</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>3,527</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>1,551</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>42,108</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>22,401</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>252</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>1,092</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>1,149</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>269,952</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>74,764</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価 (円/kg)	f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)	スケトウダラ	222,973	114	2.81	320	99	49,277	ホッケ	3,527	221.7	2.81	623	183	1,551	カレイ類	42,108	266.4	2.77	738	206	22,401	アイナメ	252	680.5	2.81	1,912	377	386	ソイ類	1,092	479.7	2.81	1,348	295	1,149	合計	269,952	-	-	-	-	74,764
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価 (円/kg)	f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)																																													
スケトウダラ	222,973	114	2.81	320	99	49,277																																													
ホッケ	3,527	221.7	2.81	623	183	1,551																																													
カレイ類	42,108	266.4	2.77	738	206	22,401																																													
アイナメ	252	680.5	2.81	1,912	377	386																																													
ソイ類	1,092	479.7	2.81	1,348	295	1,149																																													
合計	269,952	-	-	-	-	74,764																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29~R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	25,247	②×③																																																	

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (登別漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 352,878	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 97,730	「b消費地卸売単価: 札幌市中央卸売市場年報 (H29~R3平均)、c流通価格比: 総務省小売物価統計調査 (H29~R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29~R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c) (円/kg)</th> <th>e産地単価 (円/kg)</th> <th>f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>291,468</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>64,414</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>4,610</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>2,028</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>55,045</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>29,283</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>328</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>1,427</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>1,502</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>352,878</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>97,730</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価 (円/kg)	f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)	スケトウダラ	291,468	114	2.81	320	99	64,414	ホッケ	4,610	221.7	2.81	623	183	2,028	カレイ類	55,045	266.4	2.77	738	206	29,283	アイナメ	328	680.5	2.81	1,912	377	503	ソイ類	1,427	479.7	2.81	1,348	295	1,502	合計	352,878	-	-	-	-	97,730
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価 (円/kg)	f年間便益額 (a×(d-e)) (千円)																																													
スケトウダラ	291,468	114	2.81	320	99	64,414																																													
ホッケ	4,610	221.7	2.81	623	183	2,028																																													
カレイ類	55,045	266.4	2.77	738	206	29,283																																													
アイナメ	328	680.5	2.81	1,912	377	503																																													
ソイ類	1,427	479.7	2.81	1,348	295	1,502																																													
合計	352,878	-	-	-	-	97,730																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29~R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	33,003	②×③																																																	

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (白老漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 442,489	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 122,550	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c) (円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e)) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>365,483</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>80,771</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>5,781</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>2,543</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>69,023</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>36,720</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>413</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>633</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>1,789</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>1,883</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>442,489</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>122,550</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)	スケトウダラ	365,483	114	2.81	320	99	80,771	ホッケ	5,781	221.7	2.81	623	183	2,543	カレイ類	69,023	266.4	2.77	738	206	36,720	アイナメ	413	680.5	2.81	1,912	377	633	ソイ類	1,789	479.7	2.81	1,348	295	1,883	合計	442,489	—	—	—	—	122,550
			a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)																																											
		スケトウダラ	365,483	114	2.81	320	99	80,771																																											
		ホッケ	5,781	221.7	2.81	623	183	2,543																																											
		カレイ類	69,023	266.4	2.77	738	206	36,720																																											
アイナメ	413	680.5	2.81	1,912	377	633																																													
ソイ類	1,789	479.7	2.81	1,348	295	1,883																																													
合計	442,489	—	—	—	—	122,550																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	41,385	②×③																																																	

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (新胆振漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 35,416	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 9,806	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c) (円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e)) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>29,252</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>6,464</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>463</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>5,525</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>2,939</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>33</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>143</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35,416</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9,806</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)	スケトウダラ	29,252	114	2.81	320	99	6,464	ホッケ	463	221.7	2.81	623	183	203	カレイ類	5,525	266.4	2.77	738	206	2,939	アイナメ	33	680.5	2.81	1,912	377	50	ソイ類	143	479.7	2.81	1,348	295	150	合計	35,416	—	—	—	—	9,806
			a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)																																											
		スケトウダラ	29,252	114	2.81	320	99	6,464																																											
		ホッケ	463	221.7	2.81	623	183	203																																											
		カレイ類	5,525	266.4	2.77	738	206	2,939																																											
アイナメ	33	680.5	2.81	1,912	377	50																																													
ソイ類	143	479.7	2.81	1,348	295	150																																													
合計	35,416	—	—	—	—	9,806																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	3,311	②×③																																																	

スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (胆振漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 35,436	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 9,812	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c) (円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e)) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>29,268</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>6,468</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>461</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>5,531</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>2,942</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>33</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>143</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35,436</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9,812</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)	スケトウダラ	29,268	114	2.81	320	99	6,468	ホッケ	461	221.7	2.81	623	183	202	カレイ類	5,531	266.4	2.77	738	206	2,942	アイナメ	33	680.5	2.81	1,912	377	50	ソイ類	143	479.7	2.81	1,348	295	150	合計	35,436	—	—	—	—	9,812
			a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c) (円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e)) (千円)																																											
		スケトウダラ	29,268	114	2.81	320	99	6,468																																											
		ホッケ	461	221.7	2.81	623	183	202																																											
		カレイ類	5,531	266.4	2.77	738	206	2,942																																											
アイナメ	33	680.5	2.81	1,912	377	50																																													
ソイ類	143	479.7	2.81	1,348	295	150																																													
合計	35,436	—	—	—	—	9,812																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	3,313	②×③																																																	

## スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (苫小牧漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 496,990	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 137,650	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c)(円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e))(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>410,477</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>90,715</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>6,465</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>2,844</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>77,585</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>41,275</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>462</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>709</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>2,001</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>2,107</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>496,990</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>137,650</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)	スケトウダラ	410,477	114	2.81	320	99	90,715	ホッケ	6,465	221.7	2.81	623	183	2,844	カレイ類	77,585	266.4	2.77	738	206	41,275	アイナメ	462	680.5	2.81	1,912	377	709	ソイ類	2,001	479.7	2.81	1,348	295	2,107	合計	496,990	—	—	—	—	137,650
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)																																													
スケトウダラ	410,477	114	2.81	320	99	90,715																																													
ホッケ	6,465	221.7	2.81	623	183	2,844																																													
カレイ類	77,585	266.4	2.77	738	206	41,275																																													
アイナメ	462	680.5	2.81	1,912	377	709																																													
ソイ類	2,001	479.7	2.81	1,348	295	2,107																																													
合計	496,990	—	—	—	—	137,650																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	46,484	②×③																																																	

## スケトウダラ、ホッケ、カレイ類・ソイ類、アイナメ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (新苫小牧漁場)

区分		備考																																																	
増加出荷量 (kg)	① 225,558	(1) ①より																																																	
発生便益額 (千円)	② 62,470	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c)(円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e))(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケトウダラ</td> <td>186,294</td> <td>114</td> <td>2.81</td> <td>320</td> <td>99</td> <td>41,170</td> </tr> <tr> <td>ホッケ</td> <td>2,934</td> <td>221.7</td> <td>2.81</td> <td>623</td> <td>183</td> <td>1,290</td> </tr> <tr> <td>カレイ類</td> <td>35,212</td> <td>266.4</td> <td>2.77</td> <td>738</td> <td>206</td> <td>18,732</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>210</td> <td>680.5</td> <td>2.81</td> <td>1,912</td> <td>377</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>ソイ類</td> <td>908</td> <td>479.7</td> <td>2.81</td> <td>1,348</td> <td>295</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>225,558</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62,470</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)	スケトウダラ	186,294	114	2.81	320	99	41,170	ホッケ	2,934	221.7	2.81	623	183	1,290	カレイ類	35,212	266.4	2.77	738	206	18,732	アイナメ	210	680.5	2.81	1,912	377	322	ソイ類	908	479.7	2.81	1,348	295	956	合計	225,558	—	—	—	—	62,470
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)																																													
スケトウダラ	186,294	114	2.81	320	99	41,170																																													
ホッケ	2,934	221.7	2.81	623	183	1,290																																													
カレイ類	35,212	266.4	2.77	738	206	18,732																																													
アイナメ	210	680.5	2.81	1,912	377	322																																													
ソイ類	908	479.7	2.81	1,348	295	956																																													
合計	225,558	—	—	—	—	62,470																																													
付加価値率 (%)	③ 33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定																																																	
年間便益額 (千円/年)	21,096	②×③																																																	

## ハタハタ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (富浦漁場)

区分		備考														
増加出荷量 (kg)	① 24,557.0	(1) ①より														
発生便益額 (千円)	② 40,273	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c)(円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e))(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハタハタ</td> <td>24,557.0</td> <td>872.4</td> <td>2.81</td> <td>2,451</td> <td>811</td> <td>40,273</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)	ハタハタ	24,557.0	872.4	2.81	2,451	811	40,273
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)										
ハタハタ	24,557.0	872.4	2.81	2,451	811	40,273										
付加価値率 (%)	33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定														
年間便益額 (千円/年)	13,600	②×③														

## ハタハタ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (虎杖浜漁場)

区分		備考														
増加出荷量 (kg)	① 24,557.0	(1) ①より														
発生便益額 (千円)	② 40,273	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c)(円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e))(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハタハタ</td> <td>24,557.0</td> <td>872.4</td> <td>2.81</td> <td>2,451</td> <td>811</td> <td>40,273</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)	ハタハタ	24,557.0	872.4	2.81	2,451	811	40,273
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)										
ハタハタ	24,557.0	872.4	2.81	2,451	811	40,273										
付加価値率 (%)	33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定														
年間便益額 (千円/年)	13,600	②×③														

## ミスダコ の出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (胆振太平洋漁場)

区分		備考														
増加出荷量 (kg)	① 22,566.6	(1) ①より														
発生便益額 (千円)	② 47,570	「b消費地卸売単価：札幌市中央卸売市場年報 (H29～R3平均)、c流通価格比：総務省小売物価統計調査 (H29～R3平均) または消費生活モニター価格動向調査 (H29～R3平均) とb消費地卸売単価の比率平均」より算定														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>a増加生産量(kg)</th> <th>b消費地卸売単価(円)</th> <th>c流通価格比</th> <th>d消費地小売単価(b×c)(円/kg)</th> <th>e産地単価(円/kg)</th> <th>f年間便益額(a×(d-e))(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミスダコ</td> <td>22,566.6</td> <td>953.3</td> <td>2.81</td> <td>2,679</td> <td>571</td> <td>47,570</td> </tr> </tbody> </table>		a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)	ミスダコ	22,566.6	953.3	2.81	2,679	571	47,570
	a増加生産量(kg)	b消費地卸売単価(円)	c流通価格比	d消費地小売単価(b×c)(円/kg)	e産地単価(円/kg)	f年間便益額(a×(d-e))(千円)										
ミスダコ	22,566.6	953.3	2.81	2,679	571	47,570										
付加価値率 (%)	33.77	「総務省個人企業経済調査、H29～R3平均」より算定														
年間便益額 (千円/年)	16,064	②×③														